いわき民報

發行所 いわき民報社
平市田町四八番地 電三八一番
編輯兼發行人 印刷人 千輝克巳
(但月曜を除く)
定價一月十五円 一部五十錢

勞資の協力復興で ― 完全に全國を壓倒

光る常磐炭田上期出炭成績

常磐炭田の本年度上期（四月—九月）の出炭成績は三百九十四萬四千トンでこれが十六年から十九年までの間の成績を一〇〇として指數をみると七三%となつているが、更らに全期中の北海道の四五%西部の五二%、九州の四六%と較べると斷然たる成績で、全國平均四八%と比すると二五%も超過している、この全國を完全に壓倒する好成績を示すに至つたのは、終戰後他地區に較べて逸早く、勞資完全なる提携協力の下に復興に努力したゝめにほかならず、復興が他地區同様であり、出炭割當が現在の狀態では既に老齢に是を踏み入れているハンデキャップを考慮割當られていたならば完全に目標を突に足破されていることは請合である、從つて前記の通り光つているとはいえ七三%にとどまつたことは常磐炭田の貧力に比して割當が過重なために依るもので、常磐炭田としてはいさゝかも怖ないものであるとされている、なお明年度の全國出炭目標は三千三百萬トンであるが、他地區が常磐炭田同様勞資の協調によるこの好成績を示したならば完遂も易々たるものとされてる

一方勞務者數は四萬一千百六十二人の充足率一二六%で、一人當り出炭も五五トンで五八%を示し全國平均の四三%を壓し、北海道の三三%、西部の四九%、九州の四六%を室々尻目にかけている

第三、四半期更に躍進 九十八パーセントに急上昇

上期出炭に斷然全國を壓した常磐炭田は本年度分三、四半期の出炭成績も東北管内六十五萬六千五百トン（九〇%）東部管内二十四萬五百トン（一二四%）の計九十萬五千トンで九八%を示し、これまた北海道の六〇%、西部の五八%、九州の五七%を大きく引き放し全國平均五五%のざつと倍の高率を示し、常磐炭田の意義を高らかに示している

一人當出炭 七、三トン

これまた全國を大きく引き放す

更に第三、四半期の一人當り出炭をみると東北が七、一トン東部が七、九トンの平均七、三トンの七八%となり上期の五、五トン五八%をずつと上廻り、これ又北海道の四四%西部の五八%、九州の五七%及び全國平均五五%を文句なく壓到し去つている

平第三校での ― 教育實態調査好評

縣下で最高との折紙をつけらる

地方事務所協力による新教育實態のあり方研究會は豫定を繰りあげ十五日吉岡敎育視察官渡邊縣視學委員等により平第三小學校で行つた、先づ午前中は市郡内市町村長始め各學校長、敎頭等敎育關係者多數出席のもとに監督者の會として午前九時から十五分まで兒童の朝會を、十時までは一般の授業參觀正午までは今までの敎育狀況視察に就いての研究討議をなし、午後は指導者になる先生の會として午後零時五十分から一時二十分まで視察官を圍んでのリクリエションに沒頭、同一時半から三時半までは敎師の絕えざる專門的敎養の研究『日本頭民主敎育における自由人の敎育研究』その他に就いて研究討議した、同校三年生に依る『遊定と』と六年生の合唱『うららうらと』は吉岡視察官に相當の感動を與へ賞讃された、なお綜合結果も縣下最高のものであつたとの折紙をつけられた

疊表配給

市では十月中に申請受付した疊表の現品が入荷したので、來る二十日から二十二日までの平商業協同組合で配給する、今度の受配者は五百七名で値段は一枚百九十五円從つて受配者はさきの領收書に差額金四十五円を持參することになつている

平の供米促進に ― 商店や常設館も協力

二十日は兒童合同慰安藝術祭

市の供米個人割當は去る十一日漸く終つた、最高は幕ノ内鈴木盛信さんの七十俵だが、市では明春正月までには完遂せしめると意氣込んでいる、これに對し市内の活動常設館、釜屋商店ほか十四店や小學校等も側面から協力常設館は百二十枚ずつの招待券を出して完遂農家を慰めるとともに四小學校兒童達は二十日に第四小學校に農家の皆さんを招待し、藝術祭を催して慰安する、又釜屋商店ほか十四店は草刈鎌等をお禮に贈ることゝしているのでいよ／＼供米も本格的軌道に乘ることゝなつた

湯本青年會 基金募集

分會對抗藝能祭 十七日湯本座で

湯本町青年會では基金募集のため十七日午後六時半から湯本座で各分會對抗第一回藝能祭を開催するが特別應援として吉田美夫とその樂團も出演する

煉炭配給

市では新炭に代はる家庭用煉炭の配給を來る十八日から二十日までの三日間一戸一俵當て各燃料配給所を通じ綜合通帳で配給する、なお平窪幕之内方面は非農家のみ配給

小名濱農委會

小名濱町農地委員會では十五日在村地主の余剩耕地買收について協議した、なかには息子の應召關係を口實に不當土地取上げをもなさんとした向もあるので、これらに對しては愼重調査の上、場合によつては斷乎强制買收にも出ることゝした

追剝警官實は大工

インチ尺落したのが惡運のつき

好間村上好間字上野原大工鈴木良衛（二四）は去る十四日夜七時頃、同村字町田前道路付近で通行人の同村好間炭鑛松坂寮採炭夫手島甚吉さん（二四）を呼びとめて、いゝがゝりをつけてオーバを脫げと脅迫、現金百円國民服上衣及びマフラー等（約三千円相當）を强奪した上、更に同七時半頃、同村字小館古河炭鑛地内で自轉車で來た平市平窪字寺ノ内鈴木武彥さん（三〇）に對し今頃なんだお前はヤミ屋だろう俺は棚倉警察署の者だが一寸調べる事があると脅し、あやまる同人の顏面を毆打した上勘辨してやるから千円出せと强要した揚句に金がないとみると前回同様同人のオーバ竝に自轉車（約五千円相當）を强奪して姿をくらましたが、現場に鈴木と名入れのある大工用のインチ尺を落して行つたのが惡運のつきとなり自宅に潛伏中を十五日平署に捕われた

盛澤山な 募金興行

共同募金平支部では募金の一手段として十四日から二日間平館で『リラの花忘れじ』を免税公演したが十九日から二日間は聚樂館で『戀愛手帳』二十日から二日間世界館で『二人で見る星』の公演を、更に二十二日は伊藤興行部の厚意で世界館に音樂乙女の脊演會も開催する

勞働會館上棟式を

市内大工町に新築中の炭鑛勞同勞働會館は十五日午後二時から上棟式を擧行した

戰歿者葬儀 料金一定へ

小名濱厚生委員會の警告に基き

小名濱町では戰歿者の葬儀料金問題について各寺院に依り葬儀料は區々で高額に失するなど、これが適正化が要望されるに至つたので厚生委員會は十五日協議の結果、各寺院に適正料金の一定化を警告したがこれに對し各寺院側も諒とし近く協議會を開いて公定表の決定をなすことゝなつた、結局五百円以上千円以内に落つくものとみられている

四倉町雜信

☆四倉町十二月現在は一万百九十七名で男女の內譯は男、四千七百八十七名、女が五千四百十名で女の方が六百二十三名多い

☆四倉町自治祭打合せのため花澤町長、鈴木副議長は十三日出縣十四日歸町した

☆四倉町佐藤助役は水道擴張工事着手の打合せのため十五日福島縣廳へ

☆四倉町總務委員會は十九日役場會議室で開く

◇十六日より十九日 四日間上映

シューベルトの戀の思ひ出

名曲の數々を贈る ウイリ・フオルスト演出の

未完成交響樂

（午前十一時開演）

内鄉 第二イワキ 電話十二番

交換孃募集

平局で十名採用

平郵便局では交換孃要員募集中であるが、應募資格は高等科卒業以上二十才未滿の女子で希望者は今月二十日までに平局へ履歴書を提出されたいと

いわき寸言

☆社會黨も左派と右派で露行急、滿れば缺くるでこれも政權をとつたお陰か

☆常磐炭田上期も第三、四半期も完全に全國を壓倒す、勞資協調の力强さの賜と申すべし

☆寒さいよ／＼嚴しく、燃料難もます／＼深刻く、弱り目に祟り目とはよくも申した

（孤兒物語）

謎の死

堤信

消へるように此の世を去つた父を幼き頃の記憶に求めることは、その瞬間に平靜な心は亂れ散りやるせない悲しみを覺へるのである。愛すべき父愛さなければならない父が死んだ、當時の私は善惡の分別も未熟な七歳の頃唯なすところを知らずばうぜん父を送らねばならなかつた。あれからもう十五年忘れようくと愛に働らく弱い心に鞭ひつゝ社會の人々の情と多くの人の溫かい心にしつかりと抱かれて私は生長して來たしかし追憶の惡魔は私の生活から私の人生から離れようとしない。それを拂ひ除く氣力も失ひつゝあるのかもしれないのだ。面影、思ひ出追想の總てが現實に描こうとする明るい生活と心の統一を缺くのである。だが靜かな良心は過去こそ輝かしい未來への聖なる十字架だと敎える。そうだ運命の子の寂しさを超へて父が好んで讀んだ天國の生活を想像しながら再び歸らぬ父の片影を追うて見よう秋田の或る資産家の末子に生まれ土地の秋田中學を出て日本大學文學部に不自由ない遊學時代を過したが中途で退學し故郷に歸つて來たが父に對する世間の評判は良くなかつた母との交際は東京に於て各市町村統計主任出席のもとに開催された

藤原部落供米完遂

磐崎村藤原部落の四農事實行組合では村内のトツプを切つて供米割當を完遂したなお湯本も二十六日までには完遂する見込みと意氣込んでいる

磐崎農委會

磐崎村農地委員會では十五日午後一時より同役場會議室で土地不當取上げを取り戻しの件と取上防止の件について協議したが隣農地員、吉野吉也氏、地方事務所員、日農磐城協議會から熊澤龍之氏も出席

江名農協設立協議

江名町では十五日午後一時から農業協同組合設立協議會を日農主催で開催したが日農から會長松井政吉氏が出席

醉どれ凍死

湯本町御城下磐湯本鐵東運搬夫手馬目幹さん（三七）は十四日午後二時半頃勤務先の同坑運搬係詰所の二年會席上でアルコール過飲等を多量に飲酒して歸途知人宅により又も飲酒、泥醉遂に同町三函目近まで來たものゝ歩行出來ず道端に倒れたまゝ寒氣の爲め凍死しているのを十五日朝通行人が發見した

手長の抗夫

磐崎村大字上湯長谷字長倉採炭補手島根勝五郎（四三）は十五日朝八時頃、同僚の茂木繁治さんの留守を狙つて押入からトラック一箇と衣類十五點ほか現金千五百円を盜み自室の床下に隱したが發覺午後

純益金が三萬突破

社會事業共同募金平支部が去る十四、十五日の二日間平館で行つた寄附興行の純益は三万二千九百六十五円であつた

ヤミ石炭

磐崎村大字大利字向山七八無職北越三郎（四六）は去る十五日、好間村石炭販賣業原田庄一さんから割當證明なしで擔別俵三ツを一ツ三千円で買受け久之濱自給製鹽場に發送そうとして輸送中を平署へ

スルメ買い歸のを御用

茨城縣多賀郡關本炭鑛坑夫柳川梅吉（四二）は妻の妹の結婚準備金づくりに去る十三日同僚と二人

植田驛の木材輸送計畫

植田驛の明春一月から三月までの一般出荷木材の輸送計畫は各月八百石ずつの計二千四百石と決つた

統計事務打合せ會

石城統計協會主催の統計事務に關する打合せ會は去る十五日から二日間湯本高女に於て各市町村統計主任出席のもとに開催された

國際文化人クラブ結成

十九日に設足

金明稙君を委員長とする國際文化クラブ結成準備會では十九日午後一時から市公會堂に於て結成式を擧げ即時活潑な活動を開始する、全クラブは日本及び在日朝鮮中國の文化人で結び、民族間の信義をはかり、人民文化の發達に寄與するを目的とするもので、敎育、政經、音樂、美術、醫療の各部も設け週一回機關紙も發刊の計劃で事務所は平市四丁目に設置した

四倉農業會が共進會の席上で

四倉町農業會主催の農産物共進會は十四日小學校に開いたが、その席上、篤農家として佐藤辰藏（本町）安達與兵衛次、新妻留雄、鈴木健司、長谷川ハナ（中町）松本長吉、押田長次郎、岩井ミク、青木武太郎、竹永長次郎（新町）須藤八四郎、佐藤喜左衛門（中町）以上の十五氏の表彰も行つたなお共進會の入賞成績は左のとおり

☆一等　長谷川時雄ほか十二名☆二等　小山新太郎ほか二十名☆三等　吉田榮十郎ほか二十六名☆四等　押田富次ほか十二名☆五等　佐藤一男ほか七名

篤農家十五氏表彰

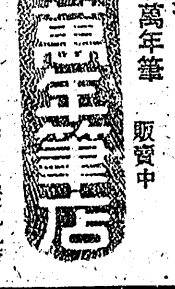
四倉農業會が共進會の席上で

四倉町農業會主催の農産物共進會は十四日小學校に開いたが、その席上、篤農家として佐藤辰藏（本町）安達與兵衛次、新妻留雄、鈴木健司、長谷川ハナ（中町）松本長吉、押田長次郎、岩井ミク、青木武太郎、竹永長次郎（新町）須藤八四郎、佐藤喜左衛門（中町）以上の十五氏の表彰も行つたなお共進會の入賞成績は左のとおり

☆一等　長谷川時雄ほか十二名☆二等　小山新太郎ほか二十名☆三等　吉田榮十郎ほか二十六名☆四等　押田富次ほか十二名☆五等　佐藤一男ほか七名

造　製　球　電　燭　各
一般照明用・車輛用
船舶用・鑛山用
コクサイランプ
供提任責品定檢級一
社會式株球電際國
平市新川町八TEL318・287

讓渡
額條、繪畫、其の他
物品一切を讓渡す
希望者は至急御照會を
平市五ノ四　菊水美店

パーマネント
パーマネントは
出來てもすまず
休日は電話で
徒弟一名急募
メイ牛山門下
永山ツル子
平市田町六ノ八
メイ美容室

高級ライター
數種入荷
坂界の最高ポイント
高級プラチナ萬年筆
販賣中
▲修理は親切丁寧に